組立・施工取扱説明書

TAKASHO
T-2210080

お客様保管用　ECZB-H150L、M、S
ECZ-H150L、M、S

エバーエコウッド 平板フェンス 共通

組立・施工の前に…

このたびは、弊社商品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。この商品を安全に正しく施工していただくため、この「施工・取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。

安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解して本文をお読みください。また、本施工・取扱説明書および当社カタログに記載されている内容に反する施工やご使用をされた場合の保証は致しかねます。

⚠ 施工上のご注意

必ず守る

- ●商品の組立、施工については必ず本施工・取扱説明書に従って行ってください。また、施工終了後、本説明書を施主様にお渡しすると共に取扱方法およびメンテナンスについて十分ご説明ください。
- ●安全のため組立、施工は2人以上で行ってください。
- ●事前に設置場所を確認し、柱材の位置関係を調整してから施工してください。
- ●商品の切り口に切断時のバリが残っている場合があります。手などにケガをしないように、取り扱いには十分ご注意ください。
- ●格子材に水抜き穴をあけて、格子材用の穴に商品を立ててから、周囲にモルタルを入れてください。モルタルを入れてから格子材を立てると、アルミ製品内部にモルタルやコンクリートが入り、内部に水がたまり、腐食、ひび割れ、凍結破損の原因になります。
- ●商品の表面にキズが生じると、美観を損ね、腐食の原因になります。十分に注意して取り扱ってください。
- ●アルミ製品は、鉄や銅など（ステンレス以外）の異種金属と直接接触すると、腐食する可能性があります。接触する場合は、ビニールテープを巻くか塗料を塗るなどの絶縁処理を行ってください。
- ●基礎は当社が指定する寸法以上にしてください。風の強い場所、積雪の多い地域や地盤の弱い場所での施工では、基礎寸法を大きくするなどの安全対策を行い、特に柱の固定を確実に行ってください。転倒など事故の原因となります。
- ●穴加工の際は水平、垂直を確認し、確実に墨出しを行い、ポンチ等でマークしてから加工してください。
- ●組み付けの際には設置場所に障害物などがないか確認してください。
- ●組み立ては所定のボルト、ネジを使用して最後まで締め付けてください。締め付け不良は事故の原因となります。組立、施工完了後にゆるみがないか再点検し、施工の汚れを取り除いてください。
- ●商品が破損した場合は、すぐに施工店に連絡してください。破損したままで使用していると事故の原因となります。

禁 止

- ●この商品は一般住宅地外構用です。それ以外の場所には設置しないでください。
- ●火気の近くや高温になる場所に施工しないでください。熱の影響により、商品の変形や火災の原因になります。
- ●危険と思われる場所や通行の邪魔になると思われる場所への取り付けはおやめください。
- ●モルタルやコンクリートに凝結促進材、凍結防止剤、減水促進材や海砂を使用しないでください。塩分が多量に含まれていますので腐食の原因になります。コンクリートは製品に記載されている配合率や注意事項に従ってください。
  養生期間（4～7日）は十分に確保し、養生期間中は重量物を載せたり、振動させたり、物を立てかけたりはしないでください。
- ●モルタルやコンクリートの抽出液やモルタルやコンクリートが、工事中に商品に付着しないように注意してください。付着した場合は、すみやかに洗浄してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良や腐食の原因になります。
- ●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合には、アルミ製品と直接接触しないようにしていただくか、接触部分を十分に養生処理してください。
- ●腐食成分（塩素イオンなど）を多く含んでいる輸入木材の併用は避けてください。もし使用される場合は、必ずアルミと接触する部分の木材に塗装するなどの処理を行ってください。
- ●商品の改造や変更はしないでください。
- ●揺すったり、寄りかかったり、上にのぼったり、ぶらさがったりしないでください。

部品の確認

■平板フェンス本体梱包明細

品名	数量
平板フェンス150×20	1枚

■別売部品梱包明細

	品名	数量
柱材	アルミ柱75×75	1本
	エバーエコウッドスリット フェンス75×75	1本

	品名	数量
キャップ	柱キャップ75×75	1個

	品名	数量
固定金具	専用固定金具	1個
	皿ドリルネジ3.5×16	2本
	Aトラス4×16	2本

施工時のご注意

●柱芯々の最大ピッチは1200mm以下にしてください。
●平板一枚の張り出し長は150mm以下にしてください。
●平板フェンスを連結する時は、平板同士のすきまを5mm以上あけてください。
●コンクリートブロック上に設置する場合は、フェンスの高さは1200mm以下にしてください。
（中芯固定金具、アルミシルバー丸パイプ、もしくはスリットフェンス H800mm、H1000mm、H1200mmを使用）
●地中に埋め込む時は、高さ1800mm以下にしてください。
●必要に応じ、補助部品（中芯固定金具、アルミシルバー丸パイプ、アルミ控柱など）で柱を補強してくだい。
●スリットフェンス75×75mmは平板フェンスの柱として使用できます。（120×120mm、200×100mmは使用不可）
●H800、H1000、H1200mmの埋め込みは、そのままブロック上に施工ができます。
●ブロックには必ず、必要量の配筋をしてください。
●高所のブロック上に、高いフェンスを設置することは大変危険です。フェンス+ブロック=1800mmを高さの目安としてください。
●柱には必ず、約φ6程度の水抜き穴を設けてください。

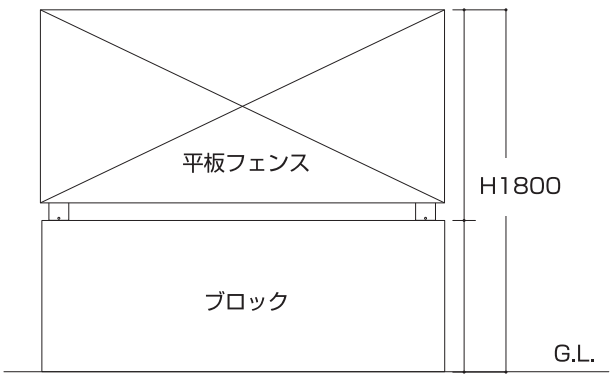
■ブロック上での施工について

①ピッチに合わせ、ブロックの穴に柱を仮置きします。この時、柱のピッチは1200mm以下になるようにします。
②柱のピッチが決まったら、柱を仮押さえします。
③柱の下部（ブロック側）から専用固定金具を取り付け、平板フェンスを固定していきます。
④施工デザインに応じて、③の工程を繰り返します。

⚠ ご注意

○フェンス+ブロック=1800mmを高さの目安としてください。
○必ず両柱が水平、垂直、高さが同じであることを確認してください。
○専用固定金具を取り付けるには、必ず両柱に1個ずつ取り付けてから平板を固定してください。一度に柱へ専用固定金具を取り付てしまうと、Aトラスで平板を取り付けられなくなります。

■ブロック上での施工参考例



施工方法

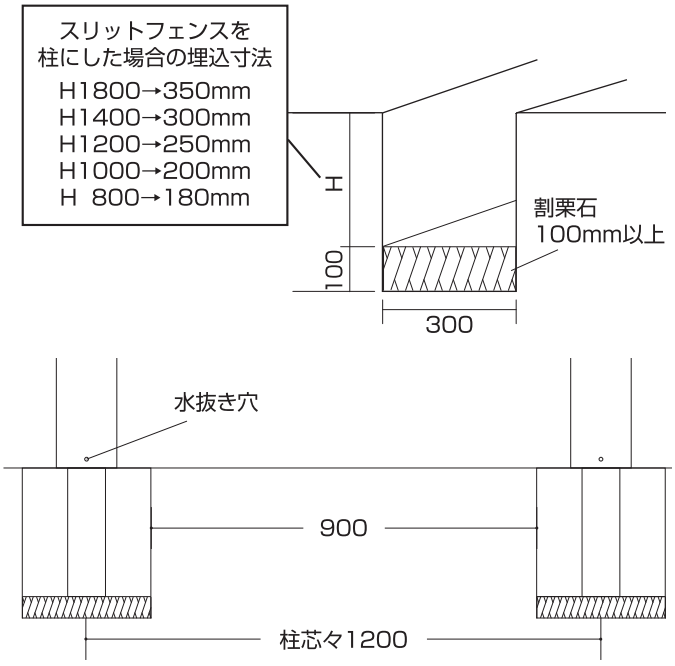
■基礎の施工

柱の位置を決め、基礎工事を行ってください。
基礎工事が完了したら、柱芯々の最大ピッチ1200mm以下になるように、柱を立ててください。（図❶）

⚠ ご注意

○基礎の下には必ず割栗石を敷いてください。
○地中には水道管やガス管などさまざまな埋設管があります。施工時は十分ご注意ください。
○柱芯々の最大ピッチは1200mm以下になるようにしてください。

図❶



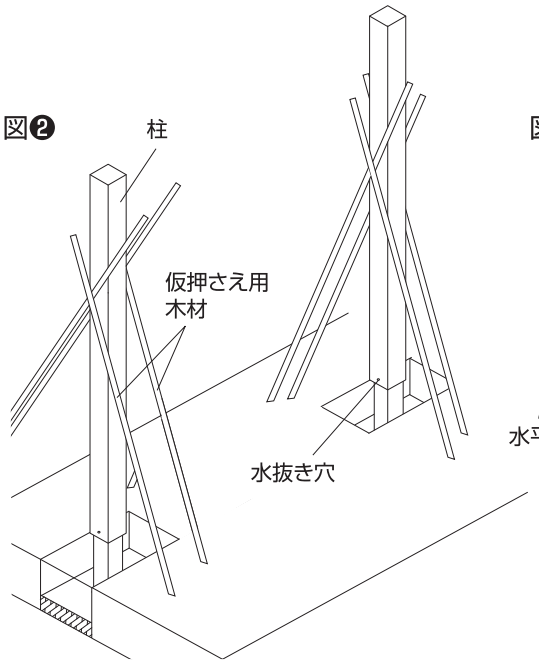
■柱の固定

下図のように柱に、仮押さえ用の木材で仮押さえをし、バランスをとってください。（図❷）
両方の柱が同じ高さであることと、水平、垂直であることを水平器で確認してください。（図❸）
柱の高さ、水平、垂直であることを確認したら、コンクリートを穴に流し込んで固定してください。（図❹）
完全にコンクリートが固まるまで仮押さえ木は外さないでください。

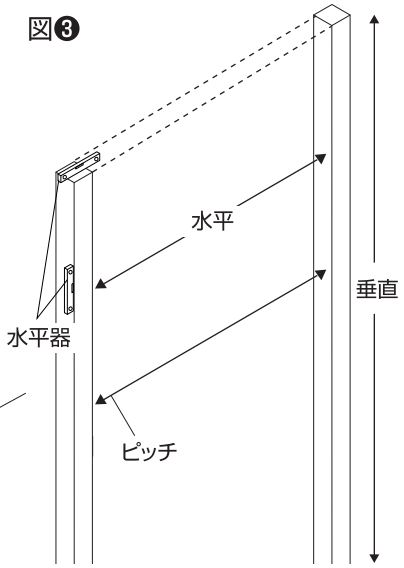
⚠ ご注意

事前に設置場所を確認してから施工してください。
設置する際は、穴の底面が水平であることを必ず確認してください。

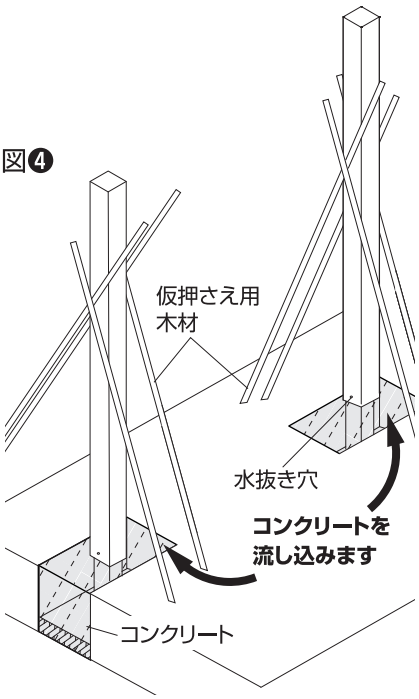
図❷



図❸



図❹



施工方法

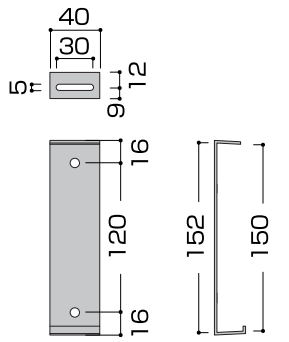
■平板の取り付け

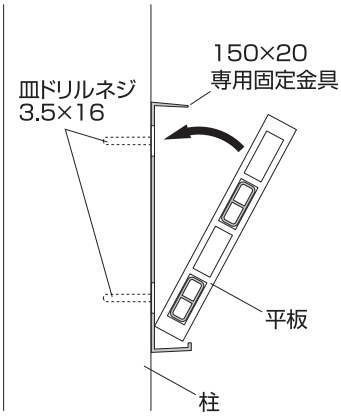
それぞれの柱に取り付ける専用固定金具は、必ず柱の下部から付属の皿ドリルネジ3.5×16で取り付け、両方の専用固定金具が同じ高さになるようにしてください。
柱に金具を取り付けてから、平板を合わせ、付属のAトラス4×16で専用固定金具の上部から固定します。同じ要領で、柱の下部から上方向に施工してください。

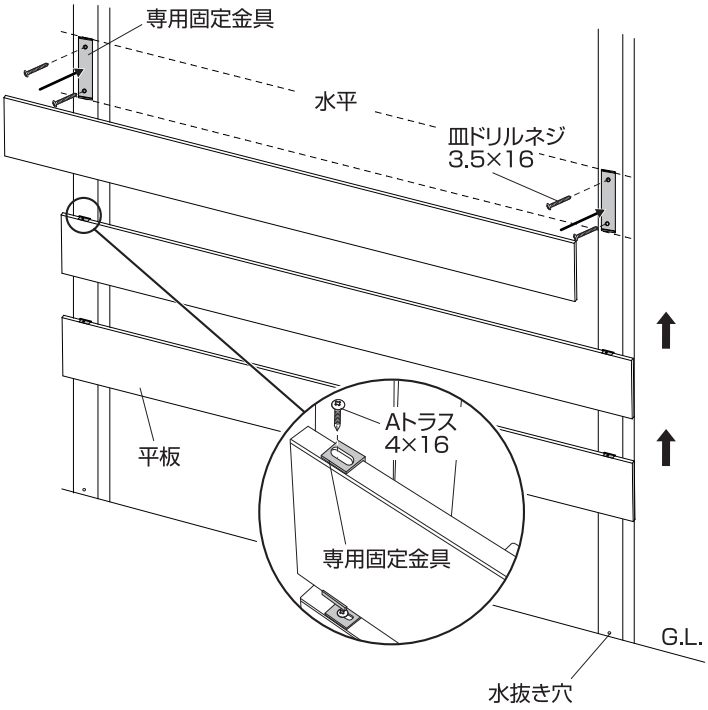
⚠ ご注意

「各柱への専用固定金具の取り付け」→「平板フェンスの固定」。この順序の工程を1セットとして、柱の下部から上方向に施工してください。

【専用固定金具】



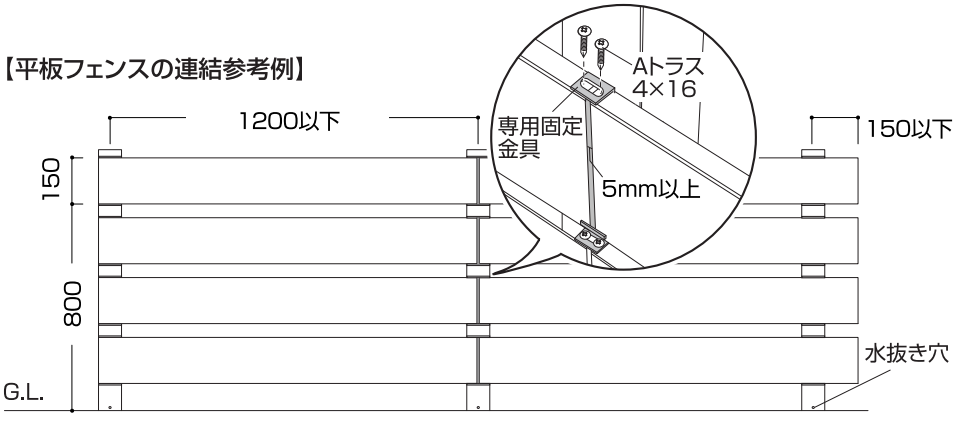




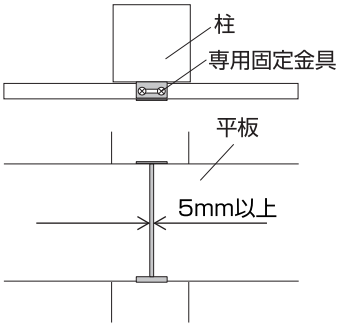
■平板フェンスの連結

平板フェンスを連結する場合は、平板同士のクリアランスを5mm以上あけてください。
下図のように、Aトラス4×16で専用固定金具の上部から両端をそれぞれ固定してください。

【平板フェンスの連結参考例】



【平板フェンスの連結】



特性と取り扱いのご注意

エバーエコウッドは天然木材とは特性も取り扱い方も異なります。以下の注意事項を必ずお読みください。

特性について

◆色について

- エバーエコウッド多少の色のばらつきがあります。
- 質感の表現上、表面をサンディングしていますので、芝のように順目、逆目が存在し、見る角度によって色合いが違って見えることがあります。
- 表面をサンディング加工した際や、使用中における表面のこすれ等により発生した粉が衣類等に付くことがありますので、洗濯物や布団などが直接ふれないようにしてください。
- エバーエコウッドは、ご使用環境の状況により、若干色が出ることがあります。その場合、壁面や床面等を汚す場合がありますので、ご了承ください。
- なお、この現象は顔料等が染み出してきたものではありません。

◆色あせについて

- エバーエコウッドは原料に廃木材を木粉にして使用しております。そのため木粉が紫外線や雨により少しずつ白っぽく退色していきますが、これは表面の変化のため強度には影響はありません。また、サンドペーパーでこすると元の色合いに戻ります。色の変化は使用環境によって異なります。

◆汚れについて

- 汚れが付着した時は、頑固な汚れになる前に清掃等を行ってください。汚れは使用環境に大きく影響されます。

◆素材の熱伸縮について

- エバーエコウッドは木とプラスチック両方の特性を持ち合わせており、そのため温度や湿度等の自然条件により伸縮や反りが生じることがあります。また、施工上および使用上、問題のない範囲で反りや曲がりのある商品が納入される場合があります。あらかじめご了承ください。

◆燃焼について

- 周辺での火気の取り扱いには十分にご注意ください。

◆デッキ材への荷重について

- 重量物を長時間載せたままにしますと床板が曲がる恐れがあります。
- デッキ面を先端の尖ったもので突かないでください。破損や変形の恐れがあります。
- 強い衝撃を与えるような、飛び乗りや飛び降りをしたり、ぶら下がったりよじのぼったりしないでください。ケガをしたり、商品が破損する恐れがあります。

◆表面温度について

- 日中、日差しが強い時は、直射日光によりエバーエコウッドの表面温度は上昇します。やけどをする恐れがありますので、スリッパ等履物をご使用ください。

◆その他

- 雨等で濡れると履物によっては滑りやすくなる場合がありますので、歩行などには十分ご注意ください。
- 再生木は樹脂を含んでいるため、歩行などの摩擦により静電気を帯電する場合があります。あらかじめご了承ください。

保管に

◆保管について

- 立て掛けず平置きしてください。変形する恐れがあります。
- 一時保管する場合は、直接雨が当たらないように養生シート等でカバーしてください。
- ハンマー等、硬いものを落としたりしないでください。割れ欠けの原因になります。
- 木口を硬い地面等に置く場合は、衝撃に注意してください。破損の原因になります。

設計

◆伸びに対する事項（目地、固定穴）

- 熱と吸水により伸縮することがあります。
- 建物など構造物へ突き付ける場合には、10mm以上、間隔をあけてください。繋げて取り付けると、熱膨張などにより、部材が変形する恐れがあります。

◆固定方法

- 建物など他の構造物に密着させないでください。
- いかなる場合でも壁や床に直接板材を取り付けることは避けてください。接地面が絶えず濡れた状況になったり、線膨張率の違い等で部材が変形する恐れがあります。

◆張り出し長

- できるだけ、張り出し量を少なくしてご使用ください。

加工

◆加工方法

- 切断、穴あけ、面取り、切削等は、従来の木材と変わらない工具で加工できます。
- 切り屑は樹脂を含むため、土に戻りませんので掃き集めて自治体の条例に従って処理してください。
- 断面を長手方向に切断しますと変形することがあります。できるだけ避けてください。
- 釘は使用できません。
- 建物など構造物へ突き付ける場合には、10mm以上、間隔をあけてください。繋げて取り付けると、熱膨張などにより、部材が変形する恐れがあります。

施工

◆ネジ留め

- ネジ留めする場合は、あらかじめ下穴をあけて施工してください。
- ネジはステンレス製をお使いください。
- 電動ドライバーを使用する場合は、トルクを弱い力に設定してください。
- 締めすぎて空回りした場合は、径を1サイズ大きくして、締め直してください。
- 叩く時は、当て木をするか、ゴムハンマー等を使用してください。

◆柱埋め込み方法（緩衝シートの使用）

- 柱などに使用しコンクリートに埋め込む場合、素材の膨張によりコンクリートを破壊する恐れがありますので、埋込部分に緩衝シート（樹脂発泡シート）を巻くなどして、直接コンクリートに触れないようにしてください。

◆空気穴、水抜穴について

- 中空の材料については、端部をキャップなどにより密封すると、熱により空気が膨張し、結露水や侵入水が溜まりますので、空気穴（水抜穴）φ5～8mmを設けてください。必ず部材断面各部屋の水が抜ける方向から穴をあけてください。
- 水抜穴は必ず下面に向けてください。誤って上に向けると水が入り込み膨張や変形の原因となりますのでご注意ください。

◆塗装

- ナチュラル色に塗装する場合は、専用ペイント以外は使用しないでください。
- 専用ペイントを付けた布で表面をすり込むように塗布するだけで美しく仕上げることができます。
- ミディアムブラウン色の塗料はナチュラル専用です。ダークブラウンには使用しないでください。

◆エバーエコウッドペイント（ミディアムブラウン色）

コード	品 番	品 名	1回塗面積
451579	PNT-EW1	ミディアムブラウン色 1／12ℓ缶（約80cc）	2.5～3㎡
451586	PNT-EW2	〃 0.7ℓ缶	20～25㎡
451593	PNT-EW3	〃 3.7ℓ缶	110～130㎡

特性と取り扱いのご注意

エバーエコウッドは天然木材とは特性も取り扱い方も異なります。以下の注意事項を必ずお読みください。

人工木材（エバーエコウッド）のお手入れ

エバーエコウッドは天然木特有の優しい風合いを持ち、人工木材本来の性能、メンテナンスの容易さを実感していただける商品です。
日々の簡単なお手入れだけで、永く皆様にご愛顧いただけます。

◆汚れの程度と掃除方法

エバーエコウッド表面に付着した汚れや染みは、早めに洗浄してください。
長時間放置しておきますと、汚れが染み状に残ったり黒い斑点の原因となりますので、水洗いをしてふきとってください。
定期的な水洗いと、からぶきだけでも効果的です。特にホワイトは汚れが目立ちやすいので、こまめなお手入れをおすすめします。
お手入れ方法は以下を参考に定期的に行ってください。

内　容	用　具	方　法
汚れが軽い場合	柔らかい布、スポンジ	材料の長手方向に沿って、柔らかい布やスポンジで水ぶきした後にからぶきしてください。
波紋状の染み等 汚れがひどい場合	中性洗剤、デッキブラシ （ナイロン等の毛足の柔らかいもの）	水で薄めた中性洗剤でデッキブラシ等を使い、長手方向に沿って、やさしくこすってください。水道水で洗剤が残らないようよく洗い流します。
なかなか除去できない 頑固な汚れ、 黒い斑点を落とす場合	漂白剤、柔らかい布	漂白をする際は事前に汚れの箇所を水洗いし、濡らした後、漂白剤を所定の割合まで水で薄め、柔らかい布等で汚れた箇所を部材の長手方向にこするようにふいてください。最後に漂白剤を水できれいに洗い流した後、からぶきしてください。その際、漂白剤の取り扱いには十分注意してください。まれに色が多少薄くなる事がありますが、経年変化により色合いはなじみます。
キズや焦げ跡が ついた場合	サンドペーパー （60番前後のもの） 当て木、柔らかい布等	表面の汚れを柔らかい布等でふきとります。サンドペーパーで傷付いた箇所と周囲の部分を、長手方向に沿ってやさしくこすります。研磨は局部的に強くこすらずに、全体をぼかすように数回こするときれいに補修できます。表面を柔らかい布等で水ぶきし、削り粉を清掃してください。こすり方により、表面状態が他の部分と若干異なることがあります。

◆人工木材（エバーエコウッド）製品のお手入れのご注意

- お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。
- 金属製のブラシ、ヘラ、スチールウール等は使用しないでください。
- 小石や砂等が付着したまま表面をこすると傷がつきます。あらかじめ取り除いてください。
- アルコール、ベンジン、アセトンなどの有機溶剤や石油類などは使用しないでください。
- 大気中のホコリやガス、雨などが床表面に付着し、そのまま放置すると紫外線などの影響を受け、雨染みや汚れとなる場合があります。
- 主成分が天然木ですので、木特有の防腐成分（タンニンなど）が雨により表層に溶け出し、表面に波紋状の染みが生じる場合があります。
- ミディアムブラウン色の商品や、お客様にてミディアムブラウンに塗装された商品に対してキズの補修をされた場合、塗装が落ちることがあります。その際は、改めてミディアムブラウンの専用ペイントで仕上げることをおすすめします。
- 汚れのひどい工業地帯や海岸近くでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
- 定期的なお手入れにより、人工木材製品をいつまでも美しく保つことができます。

廃棄について

ご不要になった商品、また現場で発生しました残材等につきましては、産業廃棄物（安定型）になりますので、各地域の条例等にしたがって、正しく処分してください。

メモ

メモ

お客様サービスセンター　通話料無料　0120-51-4128（こいよいにわ）　受付時間/月～金　AM9:00～PM5:00（祝日は除く）
株式会社タカショー　本社／〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂20-1　TEL. 073-482-4128（代）　FAX. 073-486-2560（代）